

国防は最大の
福祉である
初代会長 故 高橋季義



國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心齋橋大陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 濱野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

日本の空を誰が守るのか

元空将 佐藤 守 (防衛大学七期)



貴紙編集長より原稿を依頼されたが、この9月11日に上梓した『日本の空を誰が守るのか』より抜粋抽出したもので良いかと問うと、それで良いとの事だったので拙著の宣伝を兼ねる点を御諒解賜りたい。

平成23年度の『防衛白書』では「我が国の安全保障環境」と題して中国の脅威に初めて言及したが当然と云うか遅すぎる気がします。

今から10年あまり前、私は日中台の3国空軍の比較から、今後10年は我が国は中国に対して航空優勢を保つだろう、と見積もりましたが、その後の中国海軍の戦力の近代化と増強は目覚ましく「殲-20」という話題のステルス機を飛行させるまでに成長しました。中国側の近代化を目立たせているのが周辺諸国、とりわけ日本と台湾の近代化の遅

れです。F-15、F-4EJを装備していた航空自衛隊の戦力は、F-4の退役とともに後退し、数でも追いつかれました。台湾も同様です。この10年でミリタリー・バランスは明らかに中国優位に傾いているといえます。

北朝鮮も無視できません。米政府系放送「ボイス・オブ・アメリカ」は本年2月16日同国西海岸で建設していた長距離弾道ミサイル発射基地が完成したと報じ、また8月10日、延坪島を再度砲撃したようです。

私は34年間にわたり航空自衛官として戦闘機畑を歩んできましたが、ある閣僚が国会答弁で自衛隊を「暴力装置」と呼びましたが、軍事力とは国家と治安を守るために不可欠なものである「専守防衛」つまり「相手から攻撃を受けた時、初めて防衛力行使し、その態様も自衛のために必要最小限度にとどめ、また保持する防衛力も自衛のため必要

最低限のものに限るなど、憲法の精神にのっとった受動的な防衛戦略の姿勢」を行動規範にしてみました。この防衛白書に明記されてきたことに縛られ、黙々と「防空作戦」を中心に訓練に取り組んできたわけですが、しかし、昨今の我が国を取り巻く情勢は大きく変化しています。しかも、我が国への直接的な脅威は、弾道ミサイルが主になってきました。近隣諸国から発射された場合、数分の余裕しかない新たな脅威に對しては、長年培ってきた航空自衛隊の「スクランブル」方式では対処不可能です。しかし、装備(たとえば戦闘機、ミサイル、レーダー網)などは近代科学の発展とともに驚異的な進化を遂げつつあります。無人化構想なども相まって、さまざまな対応を迫られていくこと

我が国は島国ですから、我が国を占領するために、敵は陸軍部隊を着上陸させる必要があります。そのためには敵戦力は空中および海上・海中を経由してわが本土に侵攻しなければなりません。これを阻止するには、陸

海・空の3自衛隊が、それぞれの特長を發揮して、敵の侵攻を撃退することになります。まず、洋上においては、空中は航空自衛隊が主となり、一部海上自衛隊の艦艇が装備する艦対空ミサイルで対処します。特に今後の主要な脅威になりつつある弾道ミサイルによる攻撃に對しては、早期警戒衛星とイージスシステム、およびSM-3ミサイル、ペトリオットミサイルのPAC-3型がその主力になります。高度150kmの目標物と交戦できるとされています。

イージスシステムとは、SPYレーダー、情報処理システム、スタンダード対空ミサイル・システムによって構成されています。近年、イージスシステムはミサイル防衛任務にも対応できるように改修されています。海上および海中に關しては、主たる作戦は海上自衛隊が担当しますが、艦船および陸軍部隊を輸送する船舶については、航空自衛隊の「支援」戦闘機部隊が「阻止作戦」を担当することになります。

敵の着上陸に際しては、空中からは戦闘機部隊が海上からは機雷の敷設をはじめ、艦艇および潜水艦部隊がこれに呼応して反応しますが、陸上自衛隊も水際に機雷を敷設し、地对空ミサイル、地对艦ミサイルで撃破します。地上に對する航空攻撃任務が重要になる。このように従来型の典型的な攻撃形態に對処すべき航空防衛力の整備は、着実に充実されつつあります。が、今後の航空戦力の実力

発揮の場は「時代がかった空中戦」ではなく、おそらく湾岸戦争やイラク紛争、現在のレバノン情勢が明白に示しているように、策源地はもとより、テロ集団などの「拠点」を空から攻撃する「地上に對する航空攻撃任務」のほうが頻繁になると予想されます。したがって、戦闘機自体がマルチ化する方向になります。問題はそれに従って機体の価格が上昇することです。

航空自衛隊にとって悩みの種が生じる可能性があることです。元来、航空戦力の整備に当たっては「質は量では補えない」というジンクスがあります。したがって航空自衛隊は与えられた「必要最小限の戦力」で営々として質の向上、つまり戦闘機などの近代化を図ってきました。その意味では世界でもトップクラスの上質な近代装備を誇ってきましたが、量もまた無視できない要素であるはずが、

「質と量のバランス」をいかに維持するかが、今後の問題となることは間違いないでしょう。

ウエトナム戦争ではすでに空対地誘導弾が使用され、効果を挙げていました。が、航空自衛隊が本格的に装備に踏み切ったのは比較的最近のことです。「専守防衛」を掲げるわが国の政治状況が、爆撃は「攻撃的行為」だとみなして、それを許さなかったからです。したがって対地攻撃訓練は、地上からの対空射撃を

「ものともせず」砲火の中に勇猛果敢に突っ込む方式が主体でした。しかし武器の発達はそのを許す状態ではないことを教えてくれます。小型対空ミサイルの発達もそれです。陸上戦闘要員が個人で携帯する軽易な「携帯式SAM」が普及したからです。したがって従来型の対地攻撃パターンは死を意味します。航空自衛隊も遅ればせながら時流に追いつき、誘導武器を装備するに至ったのですが、それでも先進国の空軍に較べれば見劣りする状態です。

次のネックは、国内の対地射撃訓練地が2箇所しかないことです。しかも航空自衛隊専用の射撃場は皆無です。したがって、たまたま不足気味の「対地射撃訓練」に支障をきたしているのが実態です。しかし、日米共同訓練が充実してきた現在、グアム島で実弾射撃訓練を行うまでになつていくことは喜ばしいことです。

弾道ミサイル攻撃への対処
北朝鮮のミサイルは、ミサイル防衛論議に拍車をかけましたが、ミサイル防衛システムは具体的に完成したシステムではありません。一部のシステムを有効に機能させつつ研究開発に邁進しているものです。

航空自衛隊がこれに有効に對処するには、前述したように、ペトリオット部隊の装備を速やかに「PAC-3」に換装することです。しかしながら、その有効射程以外の範囲を防御することは不可能です。重要防護目標周辺の、ごく

4月27日、東日本大震災被災地の御激励に航空自衛隊松島基地に降り立たれた天皇后陛下に正対して敬礼する、君塚栄治統合任務部隊指揮官、自衛隊創設以来初めての事である
(「信行」8月号から転載)



運用する政治

周辺海域の防衛

対地攻撃能力

弾道ミサイル攻撃への対処

誘導弾などによる攻撃が行われた場合、座して自滅を待つというのが憲法の趣旨ではない。そのような攻撃を防ぐに万やむを得ない必要最小限の措置をとると、他に手段がない場合には、誘導弾などの基地をたたくというのは、法的には自衛の範囲に含まれている」と昭和31年に政府は国会答弁しています。ミサイルなどの策源地を攻撃することは独立国として当然の行為ですが何ら整備してきませんでした。

その場合の手段は、航空自衛隊の戦闘機部隊しか考えられません。つまり策源地へ進攻して、発射台のミサイルを破壊することになります。それには航空自衛隊の装備はいかにあるべきか。F-1X(次期主力戦闘機)選定は、この点を考慮して作業されるべきものでしょう。

子ども手当や外国人学校に予算をばらまく余裕があるならば、防衛費に回すよう指導するのが「政治主導」を標榜する民主党政権の取るべき処置ではないでしょうか。

*註・佐藤氏の近著『日本の空を誰が守るのか』(株)双葉社刊 800円

放射線放射能の心配に全て答える



高田 純
(札幌医科大学教授)

第33回〈関防〉歴史勉強会 中島サロン 予告

間線量限度を1ミリシーベルトから20ミリシーベルトに引き上げた。とんでもない、奇形が発生するぞ、白血病になるぞ」などと、専門家ぶって心配を煽る人も出てきました。

「今回の福島はチェルノブイリ事故のような危険はありません、心配ないのです」という専門家に對して「彼らは原発の御用学者たちだから、信用するな」と一方的なレッテルが貼られています。

他方で、「地震後の福島第一原発20km圏内では、政府災害対策本部の手荒な避難介入により、介護が必要な人たちが亡くなった」、「避難されなかった牛などの家畜が多数飢え死にしたり、殺された」と、政府への避難の声もあります。

「これからは、原発政策の見直しだ」、「太陽光発電などによる電気を電力会社が買い取って費用を電気料金に上乗せする再生エネルギー特別措置法」が日本を良い方向に導くのだと民主党政権が言うが、本当にそうか。

それに対して、「多数の原子力発電所が政府の命令で止められて電力不足になった」、「電力15%カットのため、うちの工場は休業に追い込まれ、倒産だ」、「産業の空洞化になるぞ」、「来年卒業だけど、全然就職が決まらないよ」と、今の経済の困難を訴える声も多数聞かれます。

以上がこの半年近くの間国内のメディアに見られた、福島第一原発関連での放射線放射能に関連したヒステリーでした。

高田純からの科学の質問

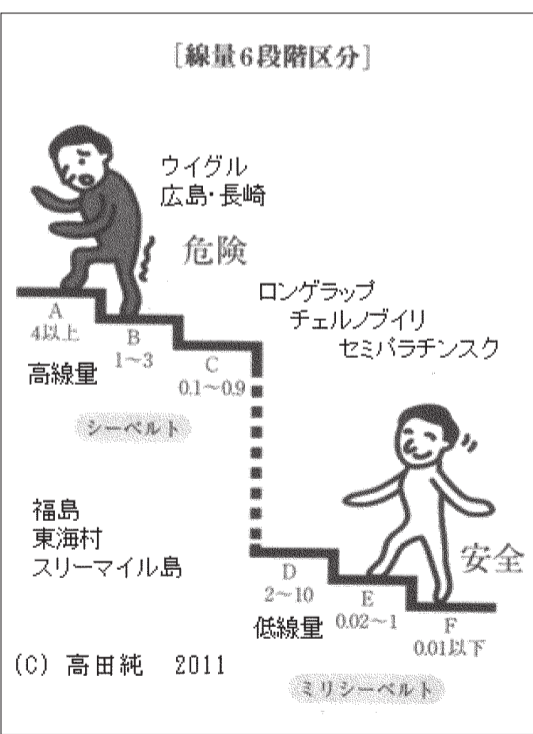
- 1 放射線って何ですか？
- 2 放射能って何ですか？
- 3 1シーベルトって何ですか？
- 4 100ベクレルって危ないのですか？
- 5 私たちの体の中に核ってあるのですか？
- 6 太陽は巨大な核反応炉ってほんとうですか？
- 7 核爆発って何ですか？
- 8 世界最初のノーベル賞は何の発見だったのですか？
- 9 太陽光発電は夜や雨の日も出来るのですか？
- 10 ウラン238は有効利用できるのですか？
- 11 チェルノブイリ事故での30km圏内からの避難住民の最大線量はいくらだったのですか？
- 12 福島20km圏内からの避難住民の最大線量はいくらだったのでしょうか？
- 13 10日間でタバコ100本の喫煙と30日間で1ミリシーベルト、どちらが健康に良くないのでしょうか？
- 14 答えられましたか？難しいでしょうね。そうわからない話をされて、ただただマイクロシーベルトやベクレルを毎日聞かされて、集団ヒステリーになったのでは。

高田純から心の質問

- 1 あなたは菅直人を信用できますか？
- 2 あなたはNHKの放送を信用していますか？
- 3 あなたは国を守りたいですか？
- 4 あなたは福島を支援したいですか？
- 5 あなたは日本人は正義を愛する民族だと思いますか？
- 6 あなたは我が国は科学立国であるべきだと思いますか？
- 7 あなたは日本が好きですか？
- 8 あなたはメイドインチャイナの食品を安心して食べられますか？
- 9 あなたは憲法9条が国を守ると思っていますか？
- 10 あなたは初詣にいきますか？
- 11 あなたは靖国神社を参拝したことがありますか？
- 12 あなたは伊勢神宮を参拝したことがありますか？

国民のための核放射線の図書(全て高田純の著作)

- 1 世界の放射線被曝地調査 講談社ブルーバックス
- 2 核爆発災害 中公新書
- 3 中国の核実験 医療科学社
- 4 シルクロード観光のリスク 医療科学社
- 5 核エネルギーと地震 医療科学社
- 6 福島 嘘と真実 医療科学社
- 7 福島第一原発事故から学ぶ 放射線防護の基礎 イーグルパブリッシング
- 8 放射線から子どもの命を守る 幻冬舎ルネッサンス核と刀 明成社



（C）高田純 2011

ありがとうございます。こちらは答えやすい普通の質問でした。放射線・放射能とは全く関係のない質問ですが、戦後日本の社会心理としては、根は同じと私は思っています。戦後の始まりが、広島・長崎への核攻撃があったからです。戦前の大和艦隊が大いに傷つけられました。過ちを犯したのは、アメリカです。瀕死の市民たちは、兵隊さん仇を討つて下さいと言って、息を引き取ったのでした。広島・長崎は見事に復興しました。逃げていく場合じゃありません。福島20km圏内も必ず復興します、させるのです。

広島長崎を遥かに超える核爆発災害が、樺太周辺で発生しています。昭和39年から平成8年まで、広島核の1375発分が炸裂しました。その間に、27万人もの日本人が、中国共産党との合作となったNHKのシルクロード大型企画番組に誘導されて、危険な核の砂が舞い上がり降った地域を旅行したのです。NHK幹部たちは、その暗部を隠ぺいしています。こうしたNHKには、福島の真相を放送できるわけがありません。その他のメディアの記者たちも中国から工作を受けています。北京五輪、上海万博以後、その被害は大きくなっています。今の福島の福島事象のインターネット世界で彼らが暗躍しているのです。ここにも国を守る戦いがあるのです。

みなさんの核放射線に関する心配疑問にすべて答える図書は以下です。特に、「核と刀」は日本を再生させるための重要文獻です。是非、お読みください。原点となる核の昭和史を知らずして、平成の戦いはありえません。

関防勉強会ですべて答えます

日時：平成23年10月15日16:00～

場所：大阪大満橋 五面参照

会場：キャッスルホテル内【錦城閣】

講演時間：約1時間30分(質疑応答含む)

菅直人が核の危険で火を焚き、左翼リベラルと日米の学者が手伝い、一部が多くのメディアが炎上させ、心理的に火あぶり状態になった福島県と放射線集団ヒステリー日本。広島・長崎から66年を経過し、エネルギーと医療で、核放射線技術の先端を走る国が、今世界の笑いものになっている。これまで何も起きていないドイツとイタリアは、第二次世界大戦と同様に、先に降参している。国民よ目を覚ませ、強い心で困難に對峙せよ！福島では、放射線と放射能で誰も死んではいない。4月以降の現地調査から、今後も、そのリスクはないと、私は断言する。復興に向けて、放射線防護学に基づいた正しい対処をすべし。菅に止められた原子力発電所を、早急に稼働させて、国のエネルギーの土台をまっす整えよ。その上で、大津波対策を短期、中期、長期で打て。今が、世界一の核エネルギー安全技術を開発する絶好のチャンスである。ピンチの後には必ずチャンスはくる。諦めたら敗北しかない。

本稿では、核放射線問題に自くらになった人の治療のヒントを与える。最初に、集団ヒステリーの様子をまとめ、その次に簡単な科学の質問をする。その答えは、私の世界の核被災地調査以後の多数の著作にあるので、一読いただけたら。あるいは、そのきっかけとなる私の講演会にお越しください。

ここで川柳を二つ

卑怯者
やることやったと
自画自賛

菅直人
やってはいけないこと
やりすぎた

作られたヒステリー

「母乳からセシウムが検出されました」、「キャベツの放射能は洗えば大丈夫ですか？」、「雨が降った日に傘がなく濡れましたがうちの子は大丈夫ですか？」、「プールで水泳したら危ない」、「秋の収穫米に、セシウム汚染が危ぶまれる」など、こうしたニュースや、心配の音が、春からテレビや週刊誌に満載です。

「校庭の放射能を取り除け！」、「危険な汚染牛乳を給食に出さないで欲しい」、「学校は子どもたちを守れ」などと教師たちに喰ってかかる一部の保護者もいるようです。

「放射能をまき散らす原発はいらない」、「これからは風力発電だ」、「メガソーラーを大阪に建設せよ」、「火力発電を増設しろ」、「ドイツもイタリアも原子力を止めたぞ」など、電力供給の転換を求める声も大きくなっています。

そして「チェルノブイリ事故の4年後から子どもたちががんが発生し、多数死んでいます」、「政府は住民の年

関防会歴史勉強会

中島サロン

第32回

8月20日

ただ今、ご紹介いただきました鋸谷(おがや)でございます。福井県の高浜に住んでいます。高浜原発から5キロ圏内です。もし事故がありましたら大阪の方にお世話にならない場所です。

私は福井県庁に入り林学職と云う山の仕事に36年間携わって来ました。今後、山のために何が出来るのか、と考えたとき、役人の世界ではこれ以上何もすることがない、組織から出て活動する方が日本の森林のために寄与出来るのではないかと、県庁を2年前に退職しました。

日本全国に森林組合があります。森林所有者の方々が組合を作り、組合が山の仕事を、また山の仕事をした人達に国の補助金を渡す組織であります。山に植樹をする、下草を刈る、間伐をする、などの仕事は森林組合の直営の作業班だけではこなせないのていわけゆる下請けに出します。その下請けの場に私は身を置いています。所有者は森林組合に請け負わせ、組合は更に私達下請けに請け負わせる。林業の中で最も弱い立場であります。



森と木の研究所代表
おがや 鋸谷 茂氏

その現実さへ解らない人達によつての外の森林行政の議論がなされている。これから、その問題を話します。

適者生存の自然の摂理
広葉樹林と言つのは葉っぱの広い樹ですが、この広葉

伊勢の神宮宮域林に 原点あり

原点あり

なつてしまつたのです。

今、日本の山に鹿が大増殖して食害が問題になっていきます。野生動物が増える要因は、餌がある、天敵がないの二点ですが、昔は狼がいました。狼の代わりをしていたのが野犬でした。東京オリンピックの前に徹底的に野犬狩りをして、日本には野犬はほとんどいなくなりました。人間が勝手に生態系のバランスを崩しているのです。私は野犬復活を訴えています。

風雪に耐える樹木とは

過密状態の人工林を放置しますと風で倒れてしまひます。これを皆さん「天災だ」と言いますが私は「人災だ」と思っています。人工林でも風に倒れないしかりした木が何本もあります。その耐えて残っている樹木を観察すると樹高に対し60%以上の枝をつけています。このような樹は風が吹いても雪が降っても倒れないのです。林学界の某大先生が50%の枝は必要だと、言つて下さるようになりました。倒木を防ぎ山を健全にするには枝を

植樹祭は天皇陛下の発案

日本の都市は米軍の空爆のため壊滅的な破壊を受けました。まず住む家が必要になり木材が求められました。焼け野原の日本は山に残っている木を切り出して家を立てるしか方法がなかったのです。この木材を自給できる山を造る事が国家目標となったのです。そのため天皇陛下が自ら全国を回り植樹祭をしようと、仰せになられたのです。この天皇自ら言われた事は歴史の陰にかくれておりますが天皇の大きな業績なのです。

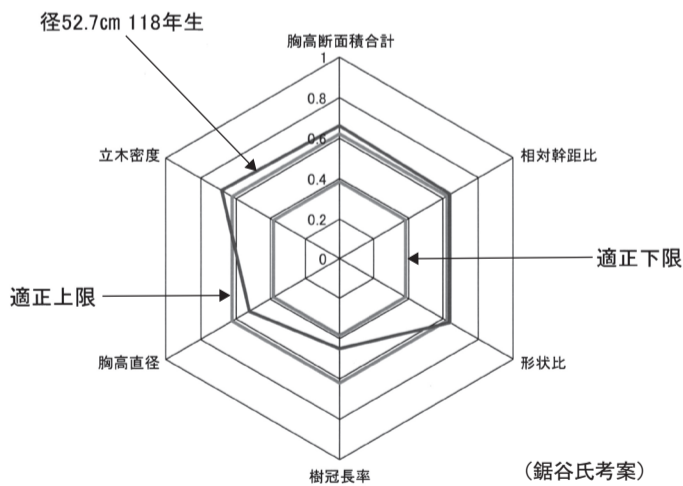
とにかく多量の木材を採るために過密な山を造つたわけですが、日本が復興するにつれて鉄やコンクリート業界が努力してほとんどコストを下げて来ました。林業界は木材を使つてくれなくなつたと文句を言っています。木材生産のコストダウンを図つてこなかったのです。またエネルギー源としては石炭とか石油に取って代わられました。そして戦後復興に大きく寄与した林業も、社会、経済情勢の変化によって当時は必要であった単一植生の過密林が現在大きな問題点に

沢山つければ良いのです。

人工林でも、樹が持っている力があります。私は福井県ですから日本の風雪の脅威に抗して成長する樹を見たいです。成長するにつれて枝が枝が接するようになり、全体で支え合う集団抵抗が出てきます。人間で言えば手と手を繋いだ状態です。集団抵抗力は一定のところまでは働きますがあくまで個の力が主です。そこで個体木に力をつけるために間伐して木を間引くという方法を考へていますが、この処置が遅れると個体の抵抗力がなくなり風で倒れてしまひます。大根の種を蒔いても、間引いてやらなければ小指のような大根しか収穫出来ないのと同じです。戦後、樹を植えてから30年、40年経つていまだから、今後間伐をしないとドンドンと倒れていくと思ひます。

山つくりは、以前に生えていた樹を伐り、苗木を植

適正な間伐林の健全度



人工林は伊勢の神宮宮域林が理想

伊勢の神宮に皆さん行かれたと思います。「伊勢神宮なんて言つてはいけません。神宮と言へば伊勢の神宮です。明治神宮、あれは地方の神宮です。伊勢の神宮の内宮の後ろに六千ヘクタールの山がございませぬ。そこには松がたくさん植えられてあります。大正末期に日本の林学者が5名集まり、この山をどのように管理しようかと協議して松を植えたのです。

伊勢の神宮に人は一生のうち八回はお参りする、と江戸の昔から言われています。その大勢の参詣客のための粥の炊炊きに宮域林の木を使ったので、あの宮域林は大正期まで丸裸だったのです。だから伊勢湾台風のとくには大変な被害を受けています。内宮の入り口の五十鈴川で手を清めますが、あそこも台風が来ると、浸水していたのです。

80年前に5人の林学者が半分を広葉樹に、半分を針葉樹にしよう、と山造りを始められたのです。これを私の作った診断グラフ(映像)に照らすと、ほぼ六角形で健全な状態です。今回の遷宮では、全体の2割くらいを宮域林で伐つた木を初めてお使いになるそうです。我々が扱っている木材は1立方メートル一万円くらいで、加工して三万円から五万円くらいですが遷宮で使われる木材は1立方メートル百円と言われています。

それだけの価値ある木が宮域林では出来ています。日本の人工林の二本として示して頂いている、それが伊勢の神宮宮域林です。

樹林の山はほとんど問題がありません。問題は針葉樹林です。葉っぱの先がチクタクしている樹です。針葉樹も天然の林は健全です。例えば屋久島の屋久杉、秋田の秋田杉、木曾の松林、これらを不健全と言つ方は誰もおりませぬ。問題は杉や松の人工林です。

人工林の杉、松は人間が山に植えた木ですが、まず種を蒔き苗を作り、大ききの揃った粒揃いの苗木だけを植えます。天然林では適者生存の摂理が働いているような植物が生えていますが、人工林では揃った木材を得る目的のために粒揃いの苗木を植えて、伐採する時まで人間が手をかけなければ健全性が保たれないのです。単一植生の弊害です。広葉樹等との混り合った山を造らなければ健全な森は育ちませぬ。それどころか人工林には広葉樹は悪いものだ、と言つて風潮が根強くあります。

これは田圃とか畑をつくる考え方と一緒です。例えば畑にトマトを植えます。雑草を摘み取り肥料をやつて人工的に育てます。手を抜けば商品価値のあるトマトはできません。最後まで人間が管理しなければ収穫物は得られないのです。この考え方が山林に持ち込まれたのです。それから田圃も畑もそうですが山も一定の面積でより多

多くの方々は今の日本の森林は荒れている、と申されますが、私の見解は荒れていたのは今から60年70年前が最高に荒れていた時期と考へています。

明治の初め日本の人口は三千万人くらいで、それから人口が爆発的に増えて、現在一億二千万人強です。この人口増に対応した生活のエネルギー源は木材でした。明治期の我が国の風景を写した写真があちこちの自然博物館などにありますが、その写真を見ると樹のない山が多くあります。それらの歴史的経緯を考へれば現在の我が国の山は千年来の緑の豊かさを取り戻したと思つていいです。

韓国も30年40年前は山に木が無かつたのです。今、韓国の山には樹齢20年前後の木がびっしりと生えております。それは韓国に国力がついたからです。我が国も国力がついた戦後から日本の山も生活の糧となつて良くなつたから緑が増えたのです。例えば神戸の六甲山、これは丸裸の禿山でした。人口が増えるにつれて生活のエネルギー源として六甲山の木を使い、したが物凄く量で

純正維新共同青年隊結成式。最前列向かって右から2人目が毛呂清輝氏(昭和十二年)



低ずるのは、皇室を中心とした日本の歴史、伝統、文化を基本体系とした理論展開がされている。

影山正治『維新者の信条』権藤成卿『自治民範』橋孝三郎『日本愛国革新本義』北一輝『日本国家改造法案大綱』天川周明『復興垂細曲の諸問題』など昭和維新の思想的バックホーンとなつた多数の著作があるが、今日でも学ぶべき点が多い。

明治時代の維新運動

昭和維新運動については5・15事件、血盟団事件、神兵隊事件、2・26事件が有名だが、その源流は明治時代に活躍した玄洋社、黒龍会にさかのぼる。西南戦争により明治維新の最大の功労者、西郷隆盛が自決して以降、南洲の道統を継承して明治維新を完遂する第二維新を目的に明治14年、頭山滿、武部小四郎、箱田六輔、進藤喜平太、平岡浩太郎らが中心になり玄洋社を結成した。

玄洋社の綱領は「皇室を敬愛すべし、本国を愛重すべし、人民の権利を愛重すべし」である。

幕末、欧米列強と結ばれた不平等条約を対等条約に改正して日本の自主独立を勝ち取る世論、運動が盛り上がる中、大隈重信外相の条約改正案、欧化政策に反対して外相に爆弾を投擲、改正案を阻止した来島恒喜の決起はあまりにも有名だ。

頭山滿、内田良平らが中心となり、明治、大正、昭和を通じて、チャンドラボーズ、孫文などアジア各国の志士たちの活動を支援した大アジア主義の行動は歴史的な偉業であろう。

大正時代の維新運動

大正時代に入ると吉野作造の民本主義、ロシア革命の影響による社会主義運動の台頭、日本共産党の創立など左右思想運動が盛り上がりつつある中で、大川周明、北一

輝、満川龜太郎、中野正剛、堺利彦、高尾平兵衛など右アナーキストが集まる老社会と言ふ会があったことは特筆すべきであり、後の昭和維新運動の指導的思想家活動家に参加していた。老社会は数回の会合の後、解散となり、維新派が猶存社を結成していく。



朝日平吾が安田財閥の安田善次郎を刺殺した事件が起こる。朝日は「死の叫び声」の声明文で、財閥、政界による政情不信、社会不安が拡大、腐敗の元凶である君側の奸を倒して、君民一体の御代を実現するべく大正維新の思いを述べている。

昭和維新運動

昭和5年、ロンドン海軍軍縮条約締結をめぐる統帥権干犯問題に對して、佐郷屋留雄が東京駅で浜口雄幸首相を狙撃した事件が昭和維新の始まりだと言われている。

昭和6年、満州国建国をめぐる動きがあるが、満州国と言えど、一番先に石原莞爾の名前が挙がるであろう。五族協和の王道を築く活動が展開された。なお石原莞爾は『世界最終戦争論』の著者、東亜連盟運動が有名である。

波騒ぎに淵の羅泊

奈良県御所市 杉本 延博(40歳) 市議会議員

社会民衆党の赤松克麿などの軍人や民間同志を動かして軍部による国家改造を目指し宇垣一成陸相政権樹立を計画したものである。計画内容は、1万人の大衆で国会を包囲して、政府要所を襲撃、戒厳令を敷き、浜口内閣の総辞職を要求して宇垣陸相政権を樹立することであったが実行前に計画は中止された。

次に同じく昭和6年に10月事件(錦旗革命事件とも言われる)が計画される。10月事件とは、満州事変が起これ幣原外相ら政府の不拡大方針の決定に對して陸軍有志が反発、橋本欣五郎が中心になり計画、桜会、在郷軍人会、民間同志が連携して決起する企てた。計画としては、政府要所を襲撃、占拠して国家改造政権を作り、荒木貞夫陸軍中将を首相、大川周明を蔵相、橋本欣五郎を内相、北一輝を法相など内閣閣員も立案していたが、計画途中で官憲にもれることとなり失敗に帰した。

昭和7年2月に血盟団事件が起こる。井上日召を中心に血盟団を結成、「二人一殺」「一人多生」を合言葉に小沼正が前蔵相井上準之助を、菱沼五郎が三井財閥の団琢磨を暗殺した事件である。建設案は持たずに破壊のみの一点突破に集中した「捨石奉公」の実践的決起であり日本再建の計画、建設は後の適任者に任せるとの思いであった。

昭和7年5月に5・15事件が起こる。

5・15事件とは「昭和維新の歌」の作詞で有名な海軍中尉 三上卓、古賀清志や民間の愛郷塾 橋孝三郎らが中心となり政府要所を占拠、電報所を襲撃して東京を暗黒化する計画であった。しかし天養毅首相を暗殺したが、半ば計画途中で終わった決起である。

腐敗する政界、財界など特権階級を打倒して天皇を中心とした皇国日本の維新を建設するため国民に決起を訴えることが檄文に明記されている。

血盟団事件、5・15事件そして後に述べる神兵隊事件、2・26事件とも政界、財界などの政治腐敗、世界大恐慌に伴う失業者の増大、飢饉が襲い農業不振の影響で東北地方の子女が身売りで苦しむなど社会不安が激しくなる情勢下、国家改造を行うことにより正常な日本を取り戻して国民を救う一心で決起したことが理由だと言われている。両事件に對して、血盟団事件に30万人、5・15事件に100万人からの助命、減刑嘆願書が寄せられたことは、当時の国民の思いを一心に受けた決起だったからでないだろうか。国内の政治不信、社会不安が深まっていく中で、昭和維新運動による決起が更に増えていくことになる。

昭和8年7月に神兵隊事件が起こる。

神兵隊事件とは前田虎男、影山正治、毛呂清輝、鈴木善一、片岡駿、白井為雄、中村武彦など戦後民族派の指導者となる怒々たる顔ぶれが参画メンバーであり政府要所を襲撃、占拠して、戒厳令を敷き皇族を中心に組閣をする国家改造を計画したが事前にもれて決行前日に検挙されて未遂になった決起である。

檄文には「天照大神の神命の日本民族の心からなる要望の遂行にあり」とかかれている純粋日本精神的なる皇道維新だと言えよう。

昭和11年に2・26事件が起こる。

2・26事件については、映画、本などで紹介、研究されてあまりにも有名である。

陸軍皇道派の青年将校が1400名の下士官、兵を率いて「昭和維新断行」「尊皇討奸」を合言葉に、首相官邸警視庁、政府要人宅などを襲撃して4日間わたり占拠した件である。

最初は陸軍首脳部も決起に對して理解を示していたが昭和天皇が「朕の股肱の臣を殺害するとは何ぞか」と仰せになり「朕自ら近衛師団を率いて討伐する」との御意思により奉勅大命がくだり、決起部隊は原隊に復帰していき4日間わたり決起は終結していく。

2・26事件の青年将校に思想的な影響を与えたといわれる北一輝の『日本改造法案大綱』は、国民の天皇私有財産、土地所有などの制限、大資本の国家統一、国家、国民、労働者の権利、将来の世界政策など多岐にわたり維新建設政策が書かれている。

田中智学の国柱会、日本国体学会や立命館大学に国体学科を創設した里見岸雄、赤尾敏や中野正剛など昭和維新運動についても詳しく論じたいところだが、紙数の関係上、初歩的な通史になったことをお許し願いたい。(タイトルは、三上卓作「昭和維新の歌」から引用)



神兵隊事件の毛呂清輝師と編集人(昭和45年・鳥取白鬼海岸)

昭和維新の思想と行動とは

思い起こせば昨年、中国による尖閣諸島の領土侵犯に始まり、今年3月に東日本大震災が発生するなど未曾有の国難が次々と襲い掛かる中、多くの国民が日本民族本来のアイデンティティに目覚めつつある傾向が見受けられる。

尖閣などの領土問題、原発、大震災と国難が山積する今日、大化の改新はさておいて、明治維新を見つめなおして日本再生、国難打開の現代的維新につなげていくべきであると考え、第二維新と言われた昭和維新運動について再検証していくことも必要ではないだろうか。

昭和維新運動の行動原理となった思想として大別して3つの体系に分類できるのではないかと。

- 1、純粋日本主義(皇道を基本原理として日本の歴史、伝統、文化を継承、発展させていく考え)
2、国家社会主義(国家主義と社会主義を結合して国家を主体に政治、経済、社会全般を統制していく考え)
3、農本自治主義(社稷を重んじ農業と工業、中央と地方のバランスが取れた共同体を中心とした自治を行う考え)
以上、思想の簡単な説明をしたが、これらの思想に通

すべし、本国を愛重すべし、人民の権利を愛重すべしである。幕末、欧米列強と結ばれた不平等条約を対等条約に改正して日本の自主独立を勝ち取る世論、運動が盛り上がる中、大隈重信外相の条約改正案、欧化政策に反対して外相に爆弾を投擲、改正案を阻止した来島恒喜の決起はあまりにも有名だ。頭山滿、内田良平らが中心となり、明治、大正、昭和を通じて、チャンドラボーズ、孫文などアジア各国の志士たちの活動を支援した大アジア主義の行動は歴史的な偉業であろう。内田良平は玄洋社から独立して黒龍会を結成、日韓合邦運動を展開、ロシア、清国、朝鮮の踏破調査、研究をして『露西亜亡国論』『支那観』などの著書を出版するなど日清、日露戦争などの対支政策に寄与した。そして昭和初期に黒龍会は、大日本生産党として発展し維新運動をリードしていくことになる。

イスラエルの覚悟

ユダヤ人の国家・イスラエルはアラブ社会にボツと浮かぶ小さな国家である。ユダヤ人は、「無抵抗のままガスを送られる」という経験は二度としない」と固く心に誓っている。その思いは、「安全保障が何よりも優先される」という政策に現れている。

イスラエルは、核兵器の保有を事実上実現し、世界最強の情報組織の一つといわれる「モサド」という情報機関を保有している。いずれも「無抵抗のままガスを送られない」ための備えである。

ひるがえって、我が国はどうか。我が国は大東亜戦争にてほぼ全ての日本人が直接、間接を問わず悲惨な経験をしている。特に二度にわたる原爆投下による死者数は、事後的な放射能障害による死亡も含めると三十万人を相当越えている。我々は「二度とこんな苦しみを味わいたくない」と強く念じている。

一方、最近の我が国周辺を眺めてみると、すぐ隣の中国とロシアは核武装をしているばかりでなく、強大な軍備を備えている。北朝鮮も核開発を行い既に複数回核実験を行っている。加えてこれら周辺三カ国は我が国を射程範囲とする各種ミサイルを保有している。にもかかわらず、我が国には確たる国防態勢もな、国民を避難させる「核シェルター」も満足に用意できていない。経済力が弱いために国防態勢を整備できないのではなく、愚かな観念にとらわれているために

しっかりとした国防態勢が取れないのである。

強い国防意識を持つ

私も、一般の人々と同じで、平和で安定した社会が第一と考えているが、平和と安定を維持するためには確固とした国防態勢と国防意識が必要であると考えている。「国防」とか「防衛」というものは国家・国民が存続していくうえでどうしても必要なものである。これ無くして生活の安定や安心は保たれない。この考え方が普通の考え方であるにもかかわらず、我が国では「それは右翼の考え方だ」と信じ込んでいる人が少なくない。

なぜ被爆国となったのか

昭和二十年八月六日広島に、八月九日には長崎に米軍爆撃機が原子爆弾を投下し、約三十万にも及ぶ一般国民が虐殺された。まさに大量破壊兵器による大量虐殺である。当時の広島、長崎はほとんど「無防備のまま原爆投下を許し」てしまった。その原因として次の点が考えられる。

その一、敵の大型爆撃機を撃墜できる対空砲がなかった。

その二、迎撃戦闘機は高々度を飛びB29の飛行空域に到達できなかった。つまり、我が国士は完全に無防備となっていた。

その三、敵機が「原子爆弾を搭載しているかもしれない」という情報が我が国の国防関係者に伝えられておらず、防空部隊が安易に見逃がしてしまった。その四、我が国諜報機関

は、米政府の対日爆撃計画を全く把握できていなかった。

その五、米国の原子爆弾が完成し、実戦配備されたことを知らなかった。

最大の敵国である米国の軍備状況、兵器開発状況は何が何でも情報入手しなければならぬターゲットだ。数十人どころか数千人の諜報員を米国に送り込んで、あらゆる手段を使って入手すべきだった。

それにしても、「無防備のまま原爆投下を許した」ということは余りにも情けない。二度とあってはならないことである。

原爆開発を知っていた可能性

我が国が、米国において原爆開発計画が進んでいたことを全く知らなかったこと

被爆国にこそ核武装の権利がある

総務部長 山本 賢一

は考えられない。なぜなら、我が国でも同様の計画を進めていたからである。

我が国の原爆開発計画推進の中心人物は仁科芳雄であった。この仁科を通じて当時の核物理学の水準や核分裂による破壊兵器の開発の可能性について一定の情報我が国にも入っていたはずだ。

核攻撃を防ぐことが国防の最重要事項

我が国が二度と被爆国にならないことが肝腎なことである。核兵器を敵国に投下する方法は二つある。その一つが核弾頭を装着

したミサイルが地上および潜水艦などからの発射である。

二つ目は核爆弾を飛行機に搭載して敵国上空で投下する方法である。

防衛側は、この地上からと海中からのミサイル攻撃と爆撃機からの投下を防ぐ必要がある。

もっと前の段階ならば、核兵器が実戦配備されないように製造工場を叩くことも必要である。イスラエルがシリアの核関連施設を叩いたのはこの段階での攻撃というよりは余りにも情けない。二度とあってはならないことである。

強い意志を持って決断すれば被爆国とならない。敵の核攻撃を叩くミサイルを保有することは自衛権の範囲であり、当然、現行憲法が許容する範囲内である。

被爆国こそ核武装の権利があると国際社会に訴えよ

「二度と被爆国にはなりたくない」なら「被爆国こそ核武装の権利がある」と国際社会に訴えねばならぬ。外敵の核攻撃を抑止できるのは核武装しかないからである。もし核保有国が「核拡散になるから容認できない」として反対するならば、「核兵器の攻撃を受けたいのは我々だ。我々が筆舌に尽くしがたい苦しみを味わったのだ」と被害を受けた方が、二度と被害を受けたくないと言張することは極めて自然であり、誰にも否定できない」と主張すべきである。これが本場の「プーモア広島」である。

イスラエルの核武装を参考にせよ

我々日本人は言論の自由が保障された社会に生きています。「二度と被爆国にならない」ためにそのための備えを持つこと以外にない。現在、我が国に核兵器を投下する可能性を持っているのは中国とロシア、そして北朝鮮の三カ国に限られる。被爆国にならないためには、この三カ国の核攻撃を抑止するための最低限の兵力を持たなければならぬ。極めて当然の話である。きちんとした国防態勢を構築していなければ外交によって相手の攻撃意図を阻止することは不可能である。外交力によって相手の戦意を挫くとするなら強力、かつ必要十分なる軍備を揃えるべきだ。

である。そのしたたかさは驚異的なものがあり、我が国にとって参考になる。イスラエルが、いつ、どのように核兵器を開発し保有するに至ったのかを調べてみると、実に興味深い。

一九五六年、アラブ社会主義の旗を掲げてエジプトの政権を掌握したナセルは、強烈なナショナリズムに突き動かされてスエズ運河の国有化を宣言した。

イスラエルの深謀遠慮

このスエズ運河を巡る一連の動きの中で、イスラエルは英仏両国のお先手を拒む格好でエジプトに侵攻した。そこには深い意味があった。イスラエルは、なんとこれも核開発に必要な技術をフランスから導入したかったのである。

イスラエルは、一九四八年の建国宣言からアラブ周辺国の圧力を受けていた。アラブの圧力を跳ね返すには核武装しかないと考えた。

しかし、当時のイスラエルには核開発の技術が十分分なかった。先進国から導入するのが最も賢明なやり方だが、米国も英国もアラブ諸国の反応に怯えて応じようとしなかった。次がフランスである。イスラエルは密かにフランスに接近し、エジプト侵攻直前にフランスから核開発に必要な支援をもらうという密約を交わすことに成功した。

一九五七年イスラエル政府は、南部の砂漠地帯に原子炉を建設した。あくまで「平和的な研究が目的」ということだった。「平和的な研究が目的」に賛同し

た米国は原子炉を提供した。これで、核開発は順調に進むかと考えられたが、翌年、米国の偵察機がイスラエル南部の砂漠地帯で想定以上の施設を建設していることをキャッチ。偵察機の情報には直ちにワシントンに送られ、米国政府から「貴国は我々が想定しない大規模な施設を建設しているようだが、その真意を教えてください」との要求が出されて、イスラエル政府は驚いた。驚いたがイスラエル政府は「当該施設は原子力開発とは関係がない」と言い逃れた。何とか言い逃れたが、ケネディ政権になると、「現地を直接調査させて欲しい」と要求してきた。最大の援助国である米国の意向に逆らえなかった。イスラエル政府は仕方なく米国の査察団を受け入れた。しかし、米国の査察団が案内された場所は核兵器関連施設ではなく、急速建設された偽物施設だったことである。

た米国は原子炉を提供した。これで、核開発は順調に進むかと考えられたが、翌年、米国の偵察機がイスラエル南部の砂漠地帯で想定以上の施設を建設していることをキャッチ。偵察機の情報には直ちにワシントンに送られ、米国政府から「貴国は我々が想定しない大規模な施設を建設しているようだが、その真意を教えてください」との要求が出されて、イスラエル政府は驚いた。驚いたがイスラエル政府は「当該施設は原子力開発とは関係がない」と言い逃れた。何とか言い逃れたが、ケネディ政権になると、「現地を直接調査させて欲しい」と要求してきた。最大の援助国である米国の意向に逆らえなかった。イスラエル政府は仕方なく米国の査察団を受け入れた。しかし、米国の査察団が案内された場所は核兵器関連施設ではなく、急速建設された偽物施設だったことである。

ニクソン政権誕生が転機

イスラエル政府は、様々な手段を使って米国の要求をしのいできた。ところが米国政府の要求は、ニクソン政権の出現(一九六九年一月)によって大きく転換した。ニクソン政権は「アラブ社会に浸透する社会主義の防波堤としてのイスラエルを高く評価する」として、査察を取りやめて、NPTへの加盟要求も取り下げた。ところが、大きなターニングポイントだった。

以上見てきたように、イスラエルの核武装は世界の超大国である米国との駆け引きを経て何とか達成されたことが伺える。「無抵抗のままガスを送られる」という強い思いと、アラブ世界の孤島ともいえる自国の安全が何よりも優先されるという強烈な安全保障意識があったればこそ達成できたのである。

我が国でも「無防備のまま原爆投下を許す」という意識を喚起することが出来れば、後は米国との交渉となる。国益と国益のぶつかり合いだと思うが、基本は「自国の安全は自国しか守れない」ということである。

一九五七年イスラエル政府は、南部の砂漠地帯に原子炉を建設した。あくまで「平和的な研究が目的」ということだった。「平和的な研究が目的」に賛同した米国は原子炉を提供した。これで、核開発は順調に進むかと考えられたが、翌年、米国の偵察機がイスラエル南部の砂漠地帯で想定以上の施設を建設していることをキャッチ。偵察機の情報には直ちにワシントンに送られ、米国政府から「貴国は我々が想定しない大規模な施設を建設しているようだが、その真意を教えてください」との要求が出されて、イスラエル政府は驚いた。驚いたがイスラエル政府は「当該施設は原子力開発とは関係がない」と言い逃れた。何とか言い逃れたが、ケネディ政権になると、「現地を直接調査させて欲しい」と要求してきた。最大の援助国である米国の意向に逆らえなかった。イスラエル政府は仕方なく米国の査察団を受け入れた。しかし、米国の査察団が案内された場所は核兵器関連施設ではなく、急速建設された偽物施設だったことである。

第34回

中島サロンの御案内
期日 平成23年12月3日(土)
午後4時

演題 民主党政権を斬る
講師 田久保忠衛氏(外交評論家・保守の論客)

会費 6,000円(兼忘年会)

備考 自由出席ですが下記へFAXを頂けたら幸いです
FAX 06-4302-5187
(関防会)

第33回

関防会歴史勉強会 中島サロンの御案内
期日 平成23年10月15日(土)
午後4時

演題 放射能・放射線のすべてに答える
講師 高田 純氏(札幌医科大学物理学教授)

会費 5,000円(含む飲食代)

会場 錦城閣 ☎06-6941-2185
地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅下車直上
キャッスルホテル3F(中国料理店)

大東亜戦争顕彰講演会の御案内

日時 平成23年12月4日(日)
午後2時~5時

演題 大東亜戦争と平成の日本
講師 中西輝政氏(京都大学大学院教授)
会場 国民會館・武藤記念ホール
地下鉄谷町線天満橋駅3番出口
京阪電車天満橋駅下車5分

参加費 1000円

主催 大東亜戦争顕彰実行委員会

電話 072-793-5953 岡島



中共の漁業監視船が8月24日、初めて尖閣諸島の目

本領海に侵入したとき、テレビニュースはNHKを始め民放各社は島田紳助の引退報道に明け暮れていた。マスコミの体たらくは国民に国家の存続と私達の生命財産の危機を知らせ得る状況にはない。

日本の外交安全保障対策とは...

野田新首相は東京裁判史を批判しA級戦犯は戦争選、またかつてはガバ棒を振り回した連中や選挙違反、買収、マルチ商法、外漁船追突事件後3倍となる。領空接近による航空自衛隊のスクランブルは昨秋の序章であり総理官邸が迎撃戦闘機をスクランブルさせなかった事は国家国民に対する裏切りであり、犯罪的行為だ。米軍のアジアでのプレゼンスを五に中共の海洋進出への対応を維持するために、特に我が国は協力する必要がある。日本の外交安全保障対策は、一に普天間基地の早期移設、二に集団的自衛権の発動を含む日米同盟協力体制の強化と防衛予算の増額、三に武器輸出三原則の撤廃、四に領土保全のための実力行使可能な法整備、五に中共の海洋進出への対応に、北朝鮮自壊へのシナリオを日米韓合同でシミュレートする事が喫緊の課題である。(I・Y)



台湾馬英九総統と記念撮影する関防会員(中央の半袖姿が馬総統、右・濱野会長、左・吉村副会長) = 9月4日



大阪府郷友会主催英霊慰霊祭(柳澤宮司の右・山本会長、左・大阪地区小山副本部長) = 9月23日

関防フォトフラッシュ

韓国の政治宣伝に加担し、サントリーが日本海を『東海』と表記!

日本の主権を脅かした、売国企業サントリーに抗議! 国民の抗議により八月九日、ホームページから削除された。ホムンベシから削除された。

2011年5月10日、サントリー飲料株式会社は「東海」の表記を「日本海」に変更することを発表したが、サントリーのホームページで「東海」と表記し、国民の抗議にもかかわらず削除されなかった。これは、サントリーが韓国の政治宣伝に加担していることを示している。サントリーのホームページで「東海」と表記し、国民の抗議にもかかわらず削除されなかった。これは、サントリーが韓国の政治宣伝に加担していることを示している。

日本民族行動会議
http://hccweb5.bai.ne.jp/koudoukaigi/



御堂筋日の丸行進(前列右から三宅博たちががれ日本大阪第14支部長、濱野会長、西村真悟前衆議院議員)(7月23日)



八尾駐屯地盆踊り大会で、浴衣姿の関口八尾駐屯地司令(右)、山本光勇八尾自衛隊協力会会長(左)(8月6日)

後編 集記

定している。視点を委せて我が国土を振り返る事も蒙を啓かれる。*杉本氏は若いのに昭和維新運動に詳しい。聞くところ高い。また喜捨する側の企業・大阪ガスの当時の総務部長が編集子の先輩で一封の自身のリンクを語ってくれた。いずれの方も物故されて20年以上になり、住時15事件の三上卓師や神兵隊事件の毛呂清輝師は托鉢

新聞の田岡俊次記者が日本空軍の佐藤大佐に対して「お前なんか何時でも誠にしてやる」と暴言を吐いた。酒席ではない、六本木(当時の空軍広報室内)である。人民日報の下請け新聞「朝日の本質が如実に診て取れる。田岡は時折防衛問題でテレビ朝日に出てくるが田岡が写ると、即座にチャンネルを変えるのが習わしになっている。

死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!! 沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアンの純粋フコイダンをダブルで配合!! 生活習慣病が気になる方に...

Fucoidan Z
フコイダンゼット

【フコイダンZ】150粒(25~50日分) 25,000円
お試し用30粒入り 2,000円と
お徳用350粒入り 50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

送迎車両の運行と管理は 安心・安全の弊社へ!

人員送迎の
・乗用車・ワンボックス車
・マイクロバス・大型バス
運転請負の専門会社

社団法人 日本自動車運転管理業協会[正会員]
株式会社 **サンワ運行委託**

フリーダイヤル 0120-77-5645
URL http://www.sanwa-drivers.co.jp/

〒570-0032 大阪府守口市菊水通2-19-1(菊水第二ビル)
06(6993)5645 FAX06(6993)5644
神戸支社 078(652)5645/京都営業所 075(595)5645

御人会の御願い

関西防衛を支える会では会員募集中です御入会御希望の方は下記口座にお振り込み下さいれば会員となります

三井住友銀行守口支店
普通口座 1261314
口座名 関西防衛を支える会
郵便振り込み
口座番号 00960-2-137035
口座名 関西防衛を支える会

一般会員 年会費 3000円
維持会員 〃 10000円
法人会員 〃 20000円

*1口以上何口でも申し受けます。銀行振り込みの場合は小会まで住所など御連絡下さるようお願いいたします。(振り込み用紙には住所の記入が無い為、以後のご案内が出来ませんので)。
*会計年度は4/1~3/31です